

2023.7.24

令和5年度の川崎の産業観光を支援する会の総会の記録

支援する会の事務局 根岸雅明 記

【日時】2023年令和5年7月23日(日) 14:00~15:00

【場所】川崎市産業振興会館 12F 会議室

【出席】会員 25名

川崎市経済労働局地域活力推進部 園田課長様

川崎市観光協会 青木専務様

川崎市観光協会 安永部長様、竹原様

【議題】1号議案 役員の選出・指名について

2号機安 令和4年度事業報告

3号議案 令和4年度決算及び監査報告

4号議案 令和5年度事業改革(案)

5号議案 令和5年度予算(案)

【講演会】15:05~16:30

テーマ 産業都市・川崎百年のあゆみ ~郷土愛に観光あり~

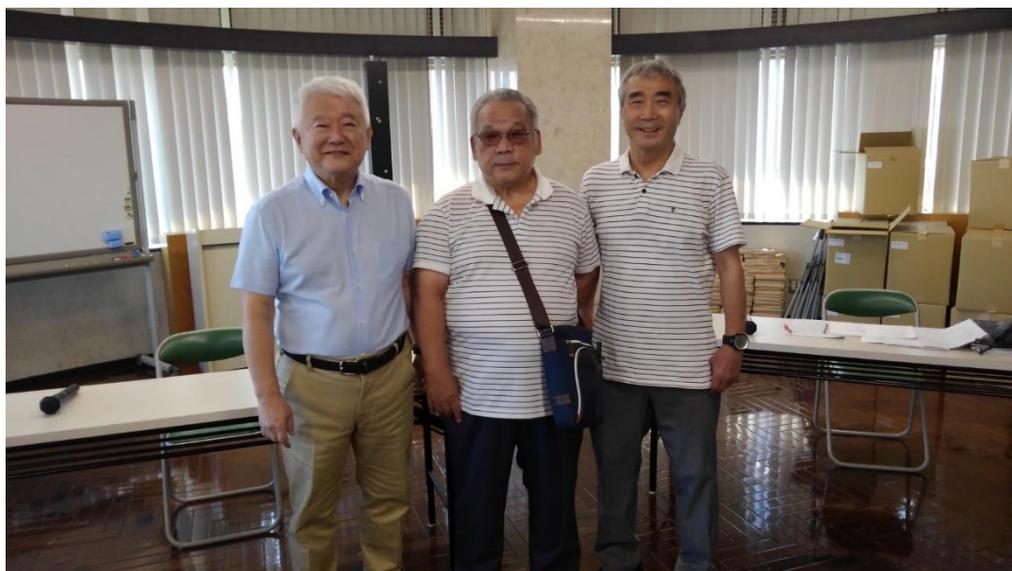
講師 一般社団法人川崎市観光協会会長 斎藤文夫 先生

【総会内容】上記レジメに沿って1号議案から5号議案までご審議いただきました。議事進行役は事務局の根岸雅明が勤めました。

審議に入る前に総会の出席者の人数25名と登録会員数79名、及び今年度の会費納入状況約70%の方々からのご協力の報告とお礼と毎年会員の小黒様からの1万円のご寄付を戴いていることをご報告しました。

- ・1号議案につきましては配布しました川崎の産業観光を支援する会の会規約の9条第1項から第3項、及び10条にのっとり、会長に大矢一彦氏、副会長に西山孝氏、同じく副会長に水谷行久氏を推薦し拍手により承認されました。
引き続き規約9条の2項より大矢会長から事務局長を根岸雅明氏、会計は國治子氏、山部清美氏を指名され拍手により承認されました。
9条3項より監事は加藤邦彦氏、佐藤節子氏を推薦し拍手により承認されました。
- ・2号議案 令和4年度事業報告
大矢会長より配布されました資料の説明後、拍手を持って承認されました。
- ・3号議案 令和4年度決算及び監査報告
山部会計担当より配布した決算書の説明及び佐藤監査担当より監査の結果は公正であると認められるとの報告を受けて、拍手を持って承認されました。
- ・4号議案 令和5年度事業計画(案)
大矢会長より配布されました事業計画(案)をご説明いただき、拍手を持って承認されました。(案)を削除して事業計画とします。

- ・5号議案 令和5年度予算（案）
大矢会長より配布視された予算（案）を説明いただき、拍手を持って承認されました。（案）を削除して予算とします。
- ・すべての5議案を承認していただきました。
- ・大矢会長からのご挨拶があり、各役員の紹介があり、令和5年度の通常総会を終了いたしました。



総会に先立ち面会していただきました小黑様。毎年寄付をいただいています。



役員の紹介

【講演内容等】総会終了後5分間の休憩をはさんで15:05~16:30まで川崎市観光協会斎藤会長殿より観光に関する熱弁を語っていただきました。

プロフィールの紹介で斎藤先生は1928年生まれで95歳になりました。奥様も92歳で元気に活躍されて斎藤先生をサポートされているそうです。

観光とのかかわり合いは大学時代から学ばれたとおっしゃっていました。幼少期には六郷辺り(多摩川の貯木場だったそうです)で水連をしていたそうです。ここで鍛えた子供たちがやがて水泳の選手になりマニラの大会で大活躍した話題、川崎市町村合併での苦労した話題、競馬場にあった富士瓦斯紡績の煙突事件(母親に背負われた2歳半頃の記憶があるそうです)、京急デパートの襲撃事件(この事件の影響で川崎にはデパートの進出が遅れたと語っていました)、議員になられてからの生田緑地の民家園の古民家の移築の問題(川崎にある古民家を横浜の三溪園に移築するのをなんとか止めた話。当時の飛鳥田市長に談判した)、江戸から明治にかけての川崎の歴史(川崎は東京と横浜の間に挟まれた通過点問題、これは江戸時代でも変わらなかった)、川崎大師の繁栄、文化面では浮世絵のコレクションの話(アメリカでのオークションの話題)、川崎の発展には海は欠かせない。ポートセールの重要性を語る。まあ、次から次へと話が尽きず、ありとあらゆる話題の多さに驚き、また年代や人名などは全く資料やメモなど見なくてもすらすらと語っている姿に驚きました。生き字引というか川崎にとって欠かせない大人物だと改めて認識させられました。国土交通省から“観光のカリスマ”と認定されたそうです。これも納得ですね。もっともっと面白いお話をたくさんお聞きしたかったです。

話は変わりますが、ドキュメンタリー映画“ハマのドン”という映画を今年の5月21日に横浜のジャック&ベティで観ました。横浜のハマのドンと言われる藤木企業の会長の映画(テレビ朝日の放映を映画にまとめたもの)にこの斎藤先生が出ていらっしゃいました。藤木会長が横浜のカジノ誘致に初めは賛成であったが、相談を受けた斎藤先生がカジノについての専門家を藤木会長に紹介して、話を聞き反対意見に変わり、自民党員でありながら今の中川横浜市長誕生の立役者になりました。これは斎藤先生は影の立役者だと思いました。藤木会長も斎藤先生も「郷土愛に観光あり」とおっしゃっていることがストンと心に落ちた感じでした。ドキュメンタリー映画の中で「愛する横浜を博打場にするな」と言わせているのは俺ではなく俺たちの先祖が言わせているのだとの藤木会長の言葉がとても印象的でした。斎藤先生の浮世絵コレクションも文化面で大いに川崎に貢献されているのだなと思いました。民家園が立派になっているのも斎藤先生の苦労したお陰ですね。斎藤先生の「観光は歴史の積み重ね」だともおっしゃっていました。とても素敵な言葉です。大変有意義な講演会でした。観光に取り組んでいることの面白さと勇気づけられた講演会になりました。

